

(別添4)

## 【岩沼市】 1人1台端末の利活用に係る計画

### 1 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

岩沼市では、学校教育情報化推進計画のもと、児童生徒の資質・能力の育成を目指す。GIGAスクール構想で整備した1人1台端末の利活用を通じて、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、学習指導要領で求める「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。また、Society5.0時代を生き抜く力の育成に加え、ICTを活用して自ら課題を見つけ解決に取り組む力や、生涯にわたり学び続ける姿勢を養うことを通じて、自立した学習者の育成を図る。

#### 教育ビジョン ~自立した学習者の育成を目指して~

- (1) 主体的に学ぶ力を育てる学校教育
- (2) 誰一人として取り残さない学び
- (3) 主体的に未来を創造する力の育成学びの保障
- (4) 家庭・地域との協働による教育力向上

### 2 GIGA第1期の総括

岩沼市では令和2年度末までに全小・中学校の児童生徒に1人1台端末を整備した。教員間でのICT活用スキルの差異が課題となったが、ICT支援員によるサポートや市主催の研修(いわすた研修会)を通じてこの差異を縮小し、学校で端末を活用した授業が日常化した。また、岩沼市はJAET(日本教育情報化振興会)より学校情報化先進校および優良校並びに先進地域として認定されており、その取組は高く評価されている。

令和5年度および令和6年度に文部科学省リーディングDXスクールの指定を受け、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるためのICTの活用、校務DXの推進を通じて効率的な学校運営を宮城県内外に展開している。

### 3 1人1台端末の利活用方策

#### (1) 1人1人1台端末の積極的活用について

令和7年度以降に学習用端末の更新を実施する。新たに導入する端末の台数は、導入年度の全校児童生徒分と予備機(国が示す、故障率を勘案した児童生徒数の5~8%)を予定し、以降5年間“1人1台端末”を維持できる台数を整備する。

#### (2) 主体的に学ぶ力を育てる学校教育

個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を図り、多様な人々と協働しながら課題を乗り越える資質・能力を育む教育を推進する。また、Google Workspace等の汎用性の高い環境でのICT活用を進め、教育の質向上を目指す。

#### (3) 誰一人として取り残さない学び

教育支援センター「あいるーむ」や教育支援室「ほっとルーム」や別室登校、家庭とオンラインで繋ぎ、児童生徒の実情に合わせて学習機会を提供する。また、AIドリルを活用し、個々の学習ペースに合わせた学び方を継続的な学びを保障する。

(4) 主体的に未来を創造する力の育成

学校で得た知識や技能を活かし表現する場として、「岩沼市プレゼンテーションコンクール」や「南国市交流事業」、「English キャンプ」などを実施している。これらの活動を通じて、児童生徒が自らの学びを実社会で役立つ形で表現し、成長を実感できる場を提供する。さらに、オンライン環境を活用し、離れた地域とつながりながら学習内容を確認し合う機会を設け、学びの成果を広く共有できる仕組みも構築する。

(5) 家庭・地域との協働による教育力向上

家庭との協力を強化するとともに小中学校の連携を深め、ICT の効果的な活用を推進する。また、児童館や図書館に Wi-Fi 環境を継続的に整備し、学習の場を学校外でも確保することで、児童生徒の学びを止めることなく、地域全体での教育支援を強化する。